

# 南小だより

文責 学校長 櫻井

## お世話になりました

例年にない季節外れのインフルエンザの流行で心許ないスタートとなりましたが、年度始めの授業参観や家庭訪問、大変お世話になりました。

### 授業参観

4/16

新担任となつて初めての授業参観。まだまだ学級作りの始まったばかりの時期ですが、学級や授業の雰囲気は感じ取っていただけたかと思ひます。



### 家庭訪問

4/24  
4/30

日々の歩みは小さくとも、年度末には成長の跡がわかるような教育活動を積み重ねていきたいと思ひます。ご協力をよろしく願ひいたします。

児童一人ひとりをよく知り、今後の指

導に生かすための家庭訪問。お忙しい中時間をとっていただきありがとうございます。



「学校は集団をととして学ぶところ」の考えの下、人との関わりをととして一人ひとりの力を引き出し、伸ばしていきたいと考えています。我が子だけに目を奪われることなく、上級生や下級生、教職員や地域の方々などの関わり方を見守っていただけたらと思ひます。

### 交通安全教室

5/1

県のくらし安全安心課の方を講師に招き、今年度の交通安全教室を開催しました。内容は、「自転車の安全な乗り方」を中心に、クイズを取り入れた講話とシミュレーションを用いた自転車の安全な乗り方指導でした。

安全に関する知識はほぼ知っている子どもたちですが、実際の技能となると心許ないというのが現状です。  
ヘルメットの着用を始めとして、「止まって確かめる」習慣をつけ、自分の身を守る技能を身につけさせたいものです。

### 脳トレコーナー設置

元栃木市小学校長の川島様より木を使った立体パズルや玩具多数をお借りしするとともに一部をご寄贈いただきました。

直感力は無論のこと、手がかりを基に推考する力も知らず知らずのうちに育つようです。今月末には返却しなければなりません。ご来校の折には是非挑戦してみてください。



## 合同学習(六年)

修学旅行を今月下旬に控えた六年生が、北小の児童と共に事前指導を受けたり、鎌倉での班別行動の計画を立てたりしました。



児童数の減少が心配される両校ですが、きめ細やかな指導ができるという長所を生かす一方、多様な考えに触れたり切磋琢磨が出来ないのではという心配事には、こうした直接の交流学習の機会を増やしたり、インターネット等のメディアを生かすことで補っていききたいと考えています。

## 校長講話から 5/7

始業式や入学式から約一ヶ月がたった七日、「伸びたかなあ」と題した講話を行いました。「自立と共生」に関わる問いかけをしたものですが、登校時の昇降口の様子を映した映像から「あいさつ」「ドアの開閉」「掃除」の三観点が出ました。それぞれ出来て

いることと出来ていないこと、よりよい状態を目指してほしいことを話して締めくくりました。

担任の指導もあり、翌日からあいさつの声が少し大きく元気になったり、開けられなかった側のドアが開けられたりとうれしい変化がありました。

よりよい状態を目指す努力を続けられるよう声をかけていきたいと思っています。

## 校長のつぶやき

### とある日の昇降口で

先月下旬のある雨の朝、いつものように昇降口で児童の登校を待っていた。

雨の朝は車で送られて来る児童が多いせいか、班ごとの登校時刻がいつもと違う。

他にもいつもと違う光景の中に、靴箱の中の長靴がある。昨年の一年生は今年二年生となり、その二年生の靴箱に三足の長靴、そして一年生の靴箱にも同数の長靴が見られた。

少々小ぶりの靴箱に窮屈そうに収まる長靴からは、「雨の中大変だけど、安全に気をつけてしっかり学校へ通ってね」という思いがくみ取れる。

昨年の小欄でも触れたが、徒歩通学の効能がいくつかある。

- ・一日のリズム作り  
(授業開始前の脳の活性化)
  - ・継続による体力と気力の強化
  - ・身を守る判断力
- 等々である。

「あめあめ ふれふれ かあさんが」で始まる童謡『あめふり』は、続く歌詞で柳の根方で泣いている子へ自分の傘を貸そうとする姿を描いている。

雨に負けない強い心と他人を思いやる優しい心が共に育つ、そんな子育てをしたいものだ。

